

# 中国細石刃石器群の 初歩的分析

はじめに 中国細石刃文化については、最近資料の蓄積が著しく、研究の深化が進んでいる。筆者も、そうした研究状況に対応すべく、まずは、石器群の集成をおこなった。そして、初歩的な分析として、実見の結果、調査概報等の記述、実測図、写真をもとに、各石器群の細石核を①角錐・円錐・柱状、②船底形、③楔形に分類し、楔形細石核の割合を求めた(表3)。

中国東北部 中国東北部では、細石核の中で楔形のもの占める割合が高く、平均で71%にのぼる。特に、北部の黒龍江流域と西部のホロンバイル高原では、その割合が高い一方、中西部の嫩江流域では低い。また、東部の長白山西麓は、両者の間の値を示している。

華北地域 この地域全体での楔形細石核の割合の平均は30%である。桑乾河流域および、その西隣の黄河大屈曲部で、割合が高いのを除くと、おしなべて楔形細石核の割合が著しく低い。また、近年明らかになってきた、約1.8万年前を前後する年代測定値をもつ出現期の細石刃石器群では、楔形細石核は基本的にはみられない。桑乾河流域・黄河大屈曲部では、約1.5万年前とされる油房遺跡で73%と楔形細石核の比率が高くなったあと、約1.3万年前の馬鞍山遺跡以降、90%以上の高率で楔形細石核が他のものを凌駕していく。この馬鞍山以降のものは、いずれも、いくつかの細石刃技法を組み合わせることで細石刃を生産する虎頭梁細石刃技術複合によっている。このほ

かの地域では、薛関、柿子灘S1中区L3、大崗、趙王村、孟家莊など、約1.4~1.0万年前という年代をもつものになると、孟家莊を除き、割合こそ低いものの、楔形細石核を保持する。これらの石器群は、上記の桑乾河流域・黄河大屈曲部の虎頭梁細石刃技術複合をもつ石器群と両面調整小型槍先形尖頭器や石斧などのツールを共有し、年代もほぼ並行している。このため、両者は関連性をもつと想定される。また、沂河・沭河流域の石器群など、薛関等の石器群と類似するものは、それらと年代的に並行関係にあると考えられる。

楔形細石核からみた中国北部の細石刃文化 約1.8万年前に出現する中国細石刃文化。筆者は、その出現過程に北方系細石刃文化の影響を見出している(『第10回 北アジア調査研究報告会要旨集』2009、37-40頁)。

一方、1.3万年以降、桑乾河流域・黄河大屈曲部で盛行する虎頭梁細石刃技術複合をもつ石器群については、その楔形細石核の割合の高さから考えて、南下してきた北方系細石刃文化そのものと考えられるかもしれない。今、中国東北部の細石刃石器群をみると、北部と西部の遺跡で楔形細石核が、桑乾河・黄河大屈曲部のものと同程度の割合で出土していることがわかる。このため、これらとの関連を探る必要がある。一方、同じ、東北部でも嫩江流域のものとは、楔形細石核の割合が大きく異なることから、直接的な関係はないと推定する。また、華北地域で、1.4万年前以降、広くみられる若干の楔形細石核をもつ石器群は、虎頭梁細石刃技術複合をもつ石器群の影響を受けて成立したものであろう。(加藤真二)

表3 中国北部・東北部の細石刃遺跡の細石核組成表

省・自治区	遺跡名	地区	細石核形状(点)			年代値 (yrsB.P.)	楔形細石核割合 (%)	参考文献
			角錐状	舟形	楔形			
黒龍江	十八站	黒龍江流域			○		100	鄧曉氏私信
黒龍江	老卡	黒龍江流域	0	0	1		100	『北方文物』1996-2
							平均	100
吉林	邵家店	長白山西麓	0	0	1		100	『北方文物』2006-1
吉林	沙金溝	長白山西麓	0	2	0		0	『華夏考古』2008-4
吉林	柳洞	長白山西麓	0	0	3		100	『華夏考古』2005-3
吉林	石人溝	長白山西麓	1	0	4		80	『辺疆考古研究』6
							平均	70
黒龍江	缸窰	嫩江流域	8	0	21		72	『北方文物』1992-3
黒龍江	大興屯	嫩江流域	1	0	0	11800±150	0	『人類学学報』3-3
黒龍江	神泉	嫩江流域	5	0	17		77	『考古学研究7』
吉林	大坎子	嫩江流域	0	1	5		83	『北方文物』2001-2
吉林	大布蘇85	嫩江流域	2	0	2		50	『人類学学報』8-1
内蒙古	嘎查	嫩江流域	0	7	6		46	『考古』1983-3
							平均	55
内蒙古	松山3	ホロンバイル高原	0	0	1		100	『考古学報』1978-3
内蒙古	松山5	ホロンバイル高原	0	0	3		100	『考古学報』1978-3
内蒙古	松山6	ホロンバイル高原	0	0	2		100	『考古学報』1978-3
内蒙古	松山7	ホロンバイル高原	0	0	1		100	『考古学報』1978-3
内蒙古	松山8	ホロンバイル高原	1	0	3		75	『考古学報』1978-3
内蒙古	松山9	ホロンバイル高原	4	0	3		43	『考古学報』1978-3
内蒙古	松山10	ホロンバイル高原	0	0	1		100	『考古学報』1978-3
内蒙古	ハイラル蛙谷	ホロンバイル高原	7	0	43		86	『内蒙古細石器文化の研究』
							平均	88
東北部平均								78

省、自治区	遺跡名	地区	細石核形状(点)			年代值 (yrsB.P.)	楔形細石核割合 (%)	参考文献
			角錐状	舟形	楔形			
河北	孟家泉	渤海湾北岸	1	1	0	17540±250	0	『文物春秋』1991-1
河北	爪村上層	渤海湾北岸	1	0	0		0	『文物春秋』1993-4
河北	淨泗溝	渤海湾北岸	0	19	0		0	『文物春秋』19胆増刊、『人類学学報』16-1
河北	東灰山	渤海湾北岸	2	3	0		0	『考古』1989-11
						平均	0	
河北	二道梁	桑乾河流域	1	6	0	18085±235	0	『泥河灣旧石器文化』
河北	官厅	桑乾河流域	0	8	0		0	『泥河灣』
河北	油房	桑乾河流域	3	0	8	15ka	73	『人類学学報』8-1
河北	虎頭梁	桑乾河流域	0	0	290	11000±210	100	『人類学学報』25-2
河北	籍箕灘	桑乾河流域	4	0	117		97	『文物春秋』1993-2
河北	千家溝3b層	桑乾河流域	1	1	85	11100±900	98	『旧石器考古学』
河北	大底園	桑乾河流域	0	0	6		100	『泥河灣旧石器文化』
河北	馬鞍山	桑乾河流域	10		328	13080±120	97	『旧石器考古学』
山西	王龍溝	桑乾河流域	0	0	2		100	『考古与文物』1993-4
山西	密子頭	桑乾河流域	3	7	0		0	『史前研究』1984-4
山西	尉家小堡	桑乾河流域	1	0	12		92	『人類学学報』27-3
						平均	69	
山西	羊頭山	太行山系	3	0	0		0	『文物季刊』1983-2
山西	下川1978	太行山系	161	0	34		17	『考古学報』1978-3
山西	下川1996	太行山系	50	13	12		15	『中原文物』1996-4
山西	嵐峪	太行山系	1	1	0		0	『文物季刊』1989-1
山西	大泉頭	太行山系	3	1	0		0	『华夏考古』1990-2
山西	趙王村	太行山系	6	4	1	10290±110	9	『人類学学報』14-3
山西	孟家莊	太行山系	2	4	0	11960±150	0	『人類学学報』14-3
山西	東形彩	太行山系	3	0	2		40	『史前研究』1998
山西	南密村	太行山系	1	0	1		50	『史前研究』1998
						平均	15	
山西	大瓮	汾河流域	15	0	15		52	『中原文物』1990-5
山西	丁村77:01	汾河流域	2	3	1		17	『文物季刊』1994-3
山西	丁村94:01	汾河流域	1	0	0		0	『文物季刊』1995-1
						平均	23	
山東	鳳凰嶺	沂·沭河流域	9	5	0		0	『考古』1983-5
山東	黑龍潭	沂·沭河流域	4	17	0		0	『考古』1986-8
山東	宅科	沂·沭河流域	4	13	3		15	『東南文化』1990-4
山東	九頂蓮花山	沂·沭河流域	0	2	0		0	『考古』1986-11
山東	馬陵山04	沂·沭河流域	2	5	3		30	『史前研究』1987-1
山東	馬陵山08	沂·沭河流域	4	7	1		8	『史前研究』1987-1
山東	馬陵山09	沂·沭河流域	2	15	3		15	『史前研究』1987-1
山東	馬陵山19	沂·沭河流域	0	2	0		0	『史前研究』1987-1
山東	馬陵山226	沂·沭河流域	0	7	0		0	『史前研究』1987-1
江蘇	大賢莊	沂·沭河流域	6	10	0		0	『東南文化』1
江蘇	瓜徽	沂·沭河流域	12	13	43		63	『東南文化』1987-2
江蘇	何山頭	沂·沭河流域	1	0	2		67	『東南文化』1
江蘇	南山	沂·沭河流域	0	0	2		100	『東南文化』1
江蘇	石碑	沂·沭河流域	1	1	6		75	『東南文化』1
江蘇	范頂子	沂·沭河流域	0	2	1		33	『東南文化』1
江蘇	將軍崖	沂·沭河流域	0	2	0		0	『人類学学報』2005増刊
						平均	25	
山西	柿子灘S14	黄河沿岸	2	0	0		0	『考古』2002-4
山西	柿子灘S12A	黄河沿岸	0	16	0	16050±160、18180±270	0	『考古学研究』7
山西	柿子灘S12C	黄河沿岸	0	8	0	19375±60	0	『考古学研究』7
山西	柿子灘S12D	黄河沿岸	0	1	0		0	『考古学研究』7
山西	柿子灘S12E	黄河沿岸	0	1	0		0	『考古学研究』7
山西	薛閣	黄河沿岸	15	53	19	13550±150	22	『人類学学報』2-2
山西	柿子灘S1	黄河沿岸	65	64	79		38	『考古学報』1989-3
山西	柿子灘S1中区L2	黄河沿岸	1	1	0	10490±540	0	『考古』1998-6
山西	柿子灘S1中区L3	黄河沿岸	4	2	1	14340±250~12660±190	14	『考古』1998-6
陝西	王龍汕	黄河沿岸	大半	無	極少	20~15ka		『考古』2007-7
						平均	25	
河南	靈井	黄淮平原	11	0	1		8	『考古』1974-2
河南	大崗	黄淮平原	9	0	19	1.2ka ?	12	『人類学学報』15-2
						平均	10	
陝西	育紅河	關中盆地	9	1	1		9	『大荔—蒲城旧石器』
陝西	沙苑S7	關中盆地	9	0	5		36	『史前研究』1986-1·2
陝西	沙苑S9	關中盆地	6	0	3		33	『史前研究』1986-1·2
陝西	沙苑S10	關中盆地	4	0	6		60	『史前研究』1986-1·2
陝西	沙苑1955	關中盆地	8	0	9		53	『考古学報』1957-3
						平均	38	
山西	丁家村	黄河大屈曲部	0	0	3		100	『考古』1985-7
						平均	100	
寧夏	彰陽PY03	六盤山東麓	1	0	0	18350±70	0	『人類学学報』24-4
寧夏	彰陽PY05	六盤山東麓	1	0	0		0	『人類学学報』24-4
						平均	0	
						華北平均	30	